

令和5年度咲くやこの花賞受賞者

≪演劇・舞踊部門≫

大槻 裕一 [能楽]

1997年（平成9年）9月生まれ（25歳）



[贈呈理由]

関西を代表する能楽師・大槻文藏氏の芸養子となり、持ち前のセンスと熱心さで次代を担うシテ方のひとりとして活躍している。伝統的な曲の継承に努める傍ら、異分野との共演や新作能にも取り組み、2022年には能狂言「鬼滅の刃」を企画・主演するなど、能を見たことのない若い人たちに能の魅力をアピールした。将来の大阪文化を担う人材として期待される。

[プロフィール]

1997年大阪生まれ、大槻文藏（人間国宝）に師事。1999年に仕舞「老松」にて初舞台。2005年に能「俊成忠度」にて初シテ。2009年に「翁」千歳を抜く。同年に能「海士」の子方にて子方終了。2011年に「石橋」赤獅子を抜く。2013年に「翁父之尉延命冠者」の延命冠者にて初面、同年に大槻文藏の芸養子となる。2014年より「大坂城本丸薪能」を企画し自ら出演。2015年より「大槻文藏裕一の会」を主催、同年に「乱」を抜く。2022年に能狂言「鬼滅の刃」竈門炭治郎・竈門禰豆子役にて出演。2023年に「道成寺」を抜く。他ジャンルの舞台にも多数出演、公益財団法人大槻能楽堂常務理事。